

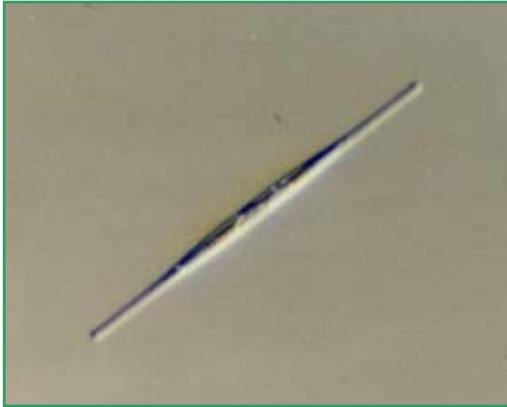
瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第49報 ～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年3月10日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

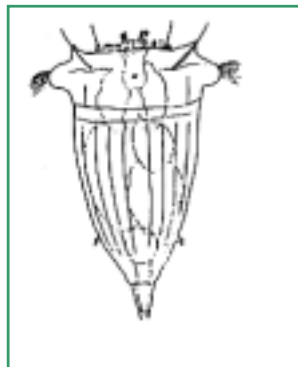
植物プランクトン第1優占種



Nitzschia acicularis
(ササノハケイソウ)
珪藻類

殻は細長く針状になり、両端は尖る。
条線は微弱で見えにくい。

動物プランクトン第1優占種



Synchaeta oblonga
(ナガマルドロワムシ)
輪虫類

体は円錐形で足は短く、先端の爪は微小である。体長は225～345 μm。体側は縦の条線があるのが特徴である。

コメント

植物プランクトンは、引き続きササノハケイソウが多く、細胞数は先週よりも2倍以上に増加した。この種は1980年代前半にはよく観察されていたが、近年ではあまり観察されなかった種類である。今回のように1900細胞数/mlと多く計数されたことは、この調査においては初めてのことであった。動物プランクトンでは、ナガマルドロワムシと太陽虫の一種であるラフィドキスティスがかった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Synchaeta oblonga</i>	110

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
肉質虫類	<i>Raphidocystis</i> sp.	110

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成15年3月10日

第49報

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	30		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	20		
(黄鞭) <i>Mallomonas tonsurata</i>	30		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	10		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	230		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	150		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	1900		
(渦) <i>Gymnodinium helveticum</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	200		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	60		
(緑) <i>Golenkinia radiata</i>	20		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	90	3.4	3.3
(珪) 珪藻綱	2280	85.1	54.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	30	1.1	15.5
(褐) 褐色鞭毛藻綱	260	9.7	26.3
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	20	0.7	0.6
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	2680	総体積 (μm^3)	1.33E+06
種類数	12		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。